

**令和元年度
佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価報告書
に対する意見**

令和2年9月
佐久市総合計画審議会

基本目標① 安心して働き続けることができる佐久市における「しごと」の創生 部会意見

	K P I 等	部会意見
基本目標①	P 5 数値目標 【市内事業所の従業者数】	○ 有効求人倍率が1を超えている時期は、選ばれない仕事、例えば、介護職などがあると思うが、その選ばれない仕事に対する調整を検討してほしい。
	P 6 空き店舗対策事業を活用した創業件数	○ K P I は延びているが、本事業を活用して創業した事業者について、支援を実施しただけではなく、その後の状況を可能な限り追いかけるべき。

※ ページ番号は、令和元年度佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価報告書の該当ページをさす。以下同じ。

基本目標② 多くの人に選ばれることができる佐久市における「ひと」の創生 部会意見

基本目標②

K P I 等	部会意見
<p>P17 数値目標 【人口の社会増】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他の移住促進施策とリンクして、テレワークの普及促進に力を入れてもらいたい。 ○ 従来、長野県内の市の人口は、上位から長野市、松本市、上田市、飯田市だったが、佐久市が4番目に上がった。県における佐久市の位置付けでは力がついてきたと思うので、引き続き施策の推進を図ってもらいたい。
<p>P17 市ホームページでのPR動画再生回数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ この数字は担当の方がたまにクリックすれば達成するような数字だと思う。臼田でYouTuberをやっている方がいて、100万回再生され、登録者も10万人以上いて、動画の作り方も研究されているので、そういった方に相談するような柔軟性も必要だと思う。
<p>P18 空き家バンク登録物件の契約成立件数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 佐久市の人口は社会増ではあるが、空き家バンク登録物件が増えていないことはミスマッチが起こっていると思うので、登録物件が増えるよう対策を講じてほしい。
<p>P20 新たな企業等の立地数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進捗状況の分析に、「米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などに起因して世界経済が悪化したことなどから」とあるが、世界情勢を理由にしてしまうと、来年度は「新型コロナで達成できませんでした」に終始しかねない。世界情勢は日本全国どこでも同じだと思うので、丁寧な分析を行うべき。 ○ コロナ禍で、テレワークを機に移住した人も多いため、工場誘致推進だけではなく、大企業の一部、例えば、大手企業の経理や人事部門を誘致する取組を実施してほしい。
<p>P24 佐久大学・佐久大学信州短期大学部からの地元企業等への就職者数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画期間で目安値をどんどん増やしているが、入学者が年々増えていけばいいが、毎年入学定員が同じであれば、毎年目安値は同数値でもいいのではないかと思う。あまり無理をした目標値を設定しないほうがいい。 ○ 卒業生のような母体が毎年変わるようなものは、目安値をパーセントにしたほうが実態に沿うのではないか。

基本目標③ 安心して結婚し、子どもを生き育てることができる佐久市における「ひと」の創生 部会意見

	K P I 等	部会意見
基本目標③	<p>P25 数値目標 【合計特殊出生率】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若い女性、特に、出産適齢期にある女性が佐久市に残る・流出しない・呼び込めるような施策をPRしていくべき。人口の自然減は、この少子高齢化社会にあっては抑えがきかないものであるが、特に、若い女性に、佐久市が魅力あるまちであることを訴えていくべき。また、それに係る効果的な施策を推進してほしい。 ○ 個別施策又は施策群が数値目標である「合計特殊出生率」の上昇にどの程度寄与したか、分析してほしい。
	<p>P26 高等学校卒業程度認定試験合格支援給付事業の活用件数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目安値を平成28年度から5件、10件、15件、20件と設定したにも関わらず、実績が計画期間の累計で0件である。「ひとり親家庭・生活困窮者等の自立支援」に結び付くよう、周知・啓発に力を入れてほしい。
	<p>P31 乳幼児健康診査の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 任意受診の7カ月健診の受診率が85.7%と非常に高い割合である。それだけ乳幼児を持つ親の心配もあると思うので、7カ月健診を市独自で義務化できないか検討してほしい。

基本目標④ 安心して暮らし続けることができる佐久市における「まち」の創生 部会意見（その1）

基本目標④

K P I 等	部会意見
<p>P40 数値目標 【「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合】</p>	<p>○ 令和元年東日本台風や新型コロナウイルス感染症を踏まえ、市が今まで取り組んできた市の卓越性を伸ばす施策に加え、命や安全を守ることを第一に考える施策についても今まで以上に取り組んでもらいたい。</p>
<p>P45 空き家バンク登録物件の契約成立件数（基本目標②再掲）</p>	<p>○ 空き家になってもなかなか空き家バンクに登録されない物件について、様々な理由があると思うが、行政による資金援助など何か良い方策を打ち出して登録物件を増加させ、移住促進施策に努めてほしい。</p>
<p>P45 テレワーク施設の設置・運営補助による事業所の立地件数及びテレワーク拠点施設におけるサテライトオフィス契約企業数</p>	<p>○ 新型コロナウイルス感染症の影響でテレワークを導入した企業が多くあるため、この機を逃さずテレワークのまちとして、力を入れてほしい。</p> <p>○ 学校統合により使用されなくなる臼田の小学校を、テレワークの拠点として再整備してほしい。</p> <p>○ 長野県は移住したい県ナンバーワンであり、その中でも佐久市はトップになってテレワークによる移住者増などが実績が積み重ねられてくるのを期待している。</p>

基本目標④ 安心して暮らし続けることができる佐久市における「まち」の創生 部会意見（その2）

	K P I 等	部会意見
基本目標④	P46～47 (3) 住民が地域防災・防犯の担い手となる環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年東日本台風の際に講じた各種対策に係る反省点などをまとめ、その教訓の上によりしっかり立ち、次の計画に生かしていただきたい。 ○ 山間部の避難場所や避難経路を細かく示してほしい。
	P46 自主防災組織数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織について、各区に組織図はあるが、実際動いていないのが現状である。今年度は、危機管理課から防災訓練を行うよう要請を受けているが、1年で区長が交代してしまうような区はなかなか自主防災組織に対する意識付けが難しいと思うので、何らかの打開策を打ち出してほしい。
	P46 消防団員の充足率	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防団員の条例定数に対する充足率は97.6%とのことだが、実際は各地区が相互に応援し合わないと活動できないのが実情である。声をかけてもなかなか入団してもらえないので、誰もが入りやすいようハードルを下げよう取組を実施してもらいたい。 ○ 消防団と各区との連携を強化してほしい。
	P49 図書館サービスの充実と読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年が上がるに連れ本を読まなくなるので、市立図書館と学校の図書館が連携して何かできないか、例えば、読書通帳の相互利用など、何らかの取組をお願いしたい。

令和元年度 地方創生関係交付金事業 部会意見

	交付対象事業	部会意見
地方創生推進交付金	<p>P51 交流と協働で織りなす夢をかなえるまちコンパクトシティ臼田とC CRC事業の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 佐久市へは何か目的を持って移住してくる人は多いが、サ高住で単純に暮らしたいという人はいないと思うので、事業の再構築を図ってほしい。 ○ 田舎に来てまで集合住宅（サ高住）に住みたいと思うのか、都会の人が何を求めて田舎に来るのかというニーズ把握や実際に来て何ができるのかというコンテンツがしっかり作りこめていないのではないかと。
	<p>P53 佐久市シティプロモーション推進事業～シルクルスムサイクルによる「健やかなくらし佐久」～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ぴんころ地蔵を用いた地蔵健診や移住ウェブマガジンへの医療特集記事の掲載は、中高年向けのプロモーションであると感じ、東京圏在住の20代～40代をターゲットにしているプロモーションなのか疑問であるため、もう一度ターゲット層の趣味嗜好などを再考いただきたい。
	<p>P55 福祉・介護のつばさ事業～「アジア健康構想」に基づく外国人材還流の創出による佐久式介護のアジア展開～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国人材の受け入れについては、新型コロナウイルス感染症の影響があり厳しいものになってくると思うので、それに代わる対策を講じてほしい。